農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries

農林水産省
大臣官房統計部

平成26年10月30日公表
（平成26年10月30日訂正）

平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

― 水稲の10ａ当たり予想収量は536kg（作況指数101）の見込み ―

【調査結果の概要】

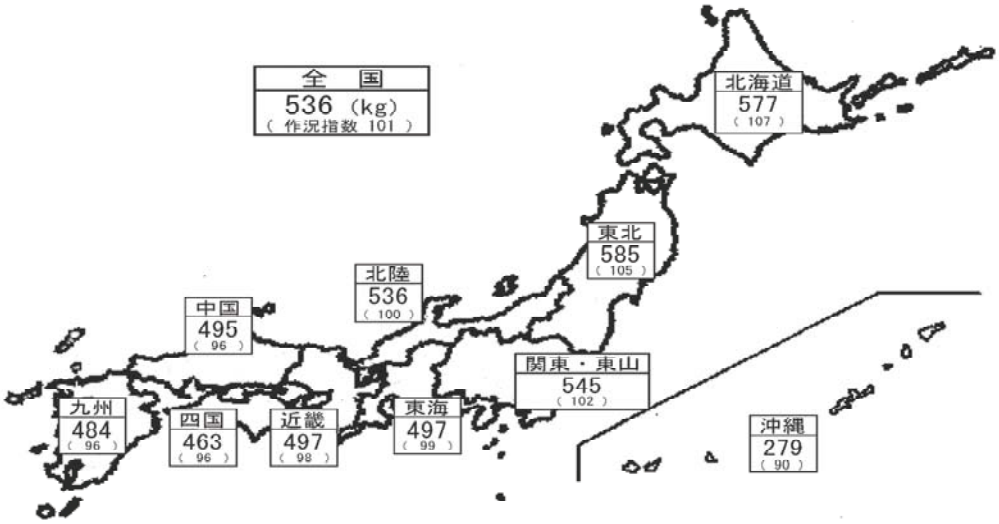
1　平成26年産水稲の作付面積（子実用）は157万3,000haで、うち主食用作付見込面積は147万4,000haが見込まれる。

2　全国の10ａ当たり予想収量は536kg（作況指数101）が見込まれる。
　これは、北海道から関東･東山では、登熟が総じて平年を下回っているものの、全もみ数が総じて多くなっていることから作柄がおおむね平年並み以上と見込まれる一方、東海以西では、日照不足・低温や一部地域での病虫害等の影響で全もみ数及び登熟が平年を下回っていると見込まれるためである。

3　以上の結果、予想収穫量（子実用）は843万8,000ｔが見込まれる。
　また、主食用作付見込面積に10ａ当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は788万5,000ｔが見込まれる。

4　ふるい目幅別重量分布について全国平均でみると、1.85㎜のふるい目より下に選別される玄米の重量割合は4.2％と見込まれ、過去５か年平均値と比べて0.4％多くなっている。

図１　全国農業地域別10ａ当たり予想収量（10月15日現在）



○　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
○　主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。
○　作況指数とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり予想収量の比率である。
○　この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。
【 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do 】

◎　水稲調査結果の主な利活用

・　主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成６年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料

・　食料・農業・農村基本計画における生産数量目標の策定及び達成状況検証のための資料

・　農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎累年データ

水稲（子実用）の年次別推移（全国）

年　産	作付面積（子実用）	10ａ当たり収量	収穫量（子実用）	10ａ当たり平年収量	作況指数	参考 主食用作付面積	参考 収穫量（主食用）
	ha	kg	t	kg		ha	t
昭和60年産	2,318,000	501	11,613,000	481	104	…	…
61	2,280,000	508	11,592,000	484	105	…	…
62	2,123,000	498	10,571,000	487	102	…	…
63	2,087,000	474	9,888,000	490	97	…	…
平成元	2,076,000	496	10,297,000	492	101	…	…
2	2,055,000	509	10,463,000	494	103	…	…
3	2,033,000	470	9,565,000	497	95	…	…
4	2,092,000	504	10,546,000	498	101	…	…
5	2,127,000	367	7,811,000	499	74	…	…
6	2,200,000	544	11,961,000	499	109	…	…
7	2,106,000	509	10,724,000	501	102	…	…
8	1,967,000	525	10,328,000	502	105	…	…
9	1,944,000	515	10,004,000	504	102	…	…
10	1,793,000	499	8,939,000	507	98	…	…
11	1,780,000	515	9,159,000	512	101	…	…
12	1,763,000	537	9,472,000	518	104	…	…
13	1,700,000	532	9,048,000	518	103	…	…
14	1,683,000	527	8,876,000	522	101	…	…
15	1,660,000	469	7,779,000	524	90	…	…
16	1,697,000	514	8,721,000	525	98	…	…
17	1,702,000	532	9,062,000	527	101	…	…
18	1,684,000	507	8,546,000	529	96	…	…
19	1,669,000	522	8,705,000	529	99	…	…
20	1,624,000	543	8,815,000	530	102	1 596 000	8 658 000
21	1,621,000	522	8,466,000	530	98	1,592,000	8,309,000
22	1,625,000	522	8,478,000	530	98	1,580,000	8,239,000
23	1,574,000	533	8,397,000	530	101	1,526,000	8,133,000
24	1,579,000	540	8,519,000	530	102	1,524,000	8,210,000
25	1,597,000	539	8,603,000	530	102	1,522,000	8,182,000
26（見込み）	**1,573,000**	**536**	**8,438,000**	**530**	**101**	**1,474,000**	**7,885,000**

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

注：１　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下同じ。）。

２　主食用作付（見込み）面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である（以下同じ。）。

３　「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70㎜以上で選別された玄米の重量としている（21ページ【参考４】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表１　ふるい目幅別重量分布状況の推移

単位：%

年　産	計	1.70㎜	1.75㎜	1.80㎜	1.85㎜	1.90㎜	2.00㎜以上
平成17年産	100.0	1.0	1.4	2.3	3.6	20.5	71.2
18	100.0	0.9	1.3	2.2	3.5	19.2	72.9
19	100.0	0.7	1.1	1.8	3.0	17.9	75.5
20	100.0	0.9	1.3	2.1	3.0	16.5	76.2
21	100.0	0.8	1.3	2.1	3.2	17.4	75.2
22	100.0	0.6	1.0	1.6	2.3	13.2	81.3
23	100.0	0.9	1.4	2.2	3.1	16.6	75.8
24	100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26（概数値）	**100.0**	**0.8**	**1.4**	**2.0**	**2.7**	**14.7**	**78.4**
平 均 値	100.0	0.7	1.2	1.9	2.7	14.9	78.6
対平均差	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2

注：１　平均値は、直近５か年の重量割合の平均である（以下同じ。）。

２　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

表２　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の推移

年　産		1.70㎜選別	1.75㎜選別	1.80㎜選別	1.85㎜選別	1.90㎜選別	2.00㎜選別
平成17年産	10ａ当たり収量（kg）	532	527	519	507	488	379
18	10ａ当たり収量（kg）	507	502	496	485	467	370
19	10ａ当たり収量（kg）	522	518	513	503	488	394
20	10ａ当たり収量（kg）	543	538	531	520	503	414
21	10ａ当たり収量（kg）	522	518	511	500	483	393
22	10ａ当たり収量（kg）	522	519	514	505	493	424
23	10ａ当たり収量（kg）	533	528	521	509	492	404
24	10ａ当たり収量（kg）	540	537	531	523	511	441
	収　穫　量（ｔ）	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25	10ａ当たり収量（kg）	539	535	528	517	503	425
	収　穫　量（ｔ）	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26（概数値）	**10ａ当たり収量（kg）**	**536**	**532**	**524**	**513**	**499**	**420**
	収　穫　量（ｔ）	**8,438,000**	**8,370,000**	**8,252,000**	**8,084,000**	**7,856,000**	**6,615,000**
	対前年比（%）	98	98	98	98	98	98

注：１　ふるい目幅別の収穫量(子実用)については、平成24年産より集計・公表を行っている。

２　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、全国の10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

３　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

【調査結果】

1　平成26年産水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から青刈り用の面積を除いた子実用作付面積は157万3,000haで、前年産に比べて２万4,000ha減少した。

また、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は147万4,000haで、前年産に比べて４万8,000haの減少が見込まれる。

2　10月15日現在における水稲の地域別の作柄は、北海道では、生育期間を通して天候に恵まれたことにより、全もみ数がやや多く、病害虫等の被害が少なかったことから、10ａ当たり予想収量は577kg（作況指数107）が見込まれる。

東北から関東・東山では、田植期以降７月にかけておおむね天候に恵まれ、全もみ数が総じて多いないしやや多いとなっていることから、８月の日照不足等により登熟が平年を下回っている地域がみられるものの、東北の10ａ当たり予想収量は585kg（同105）、北陸は536kg（同100）、関東・東山は545kg（同102）が見込まれる。

東海以西では、６月以降断続的に低温・日照不足傾向となったこと等により、全もみ数が総じて平年並みないしやや少ないとなっていることに加えて、病害虫等の被害が拡大している地域もみられ登熟が総じて平年を下回って推移していることから、東海の10ａ当たり予想収量は497kg（同99）、近畿は497kg（同98）、中国は495kg（同96）、四国は463kg（同96）、九州は484kg（同96）が見込まれる。

この結果、全国の10ａ当たり予想収量は536kg（同101）が見込まれる。

3　以上の結果、予想収穫量（子実用）は843万8,000ｔが見込まれる。

また、主食用作付見込面積に10ａ当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は788万5,000ｔが見込まれる。

4　ふるい目幅別重量分布状況を地域別にみると、北海道、東北及び北陸では、総じて全もみ数が多かったことにより登熟が平年を下回っていると見込まれることから、1.85㎜のふるい目より下に選別される玄米の割合（以下「1.85㎜下の割合」という。）が過去５か年平均値（以下「平均値」という。）に比べて、それぞれ0.2％、0.5％、0.2％多くなっている。

関東・東山では、登熟が平年並みに推移した地域があり、1.85㎜下の割合が平均値に比べて0.4％少なくなっている。

一方、東海以西では、日照不足・低温等により登熟が平年を下回っていると見込まれることから、東海で1.85㎜下の割合が平均値に比べて1.1％、近畿は同0.4％、中国は同1.0％、四国は同1.1％、九州は同1.4％多くなっている。

表３　平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在、全国農業地域別）

全国農業地域	作付面積（子実用） 実数 ①	前年産との比較 対差	前年産との比較 対比	10ａ当たり予想収量 ②	10ａ当たり平年収量 ③	作況指数 ④＝②／③	予想収穫量（子実用） 実数 ⑤＝①×②	前年産との比較 対差	前年産との比較 対比	参考 主食用作付見込面積 ⑥	参考 予想収穫量（主食用） ⑦＝⑥×②
	ha	ha	%	kg	kg		t	t	%	ha	t
全国	1,573,000	△ 24,000	98	536	530	101	8,438,000	△ 165,000	98	1,474,000	7,885,000
北海道	111,000	△ 1,000	99	577	537	107	640,500	11,100	102	103,500	597,200
東北	402,500	△ 3,700	99	585	559	105	2,354,000	26,000	101	361,100	2,109,000
北陸	212,500	△ 200	100	536	534	100	1,139,000	△ 21,000	98	190,000	1,019,000
関東・東山	292,800	△ 6,100	98	545	535	102	1,595,000	△ 40,000	98	279,800	1,524,000
東海	99,700	△ 2,600	97	497	503	99	495,100	△ 29,700	94	97,500	483,600
近畿	108,000	△ 1,400	99	497	509	98	537,100	△ 30,100	95	104,500	519,900
中国	112,600	△ 2,600	98	495	517	96	556,900	△ 30,700	95	108,700	536,600
四国	55,300	△ 1,100	98	463	484	96	256,200	△ 16,800	94	54,500	253,000
九州	178,200	△ 5,300	97	484	502	96	861,900	△ 33,800	96	173,700	840,500
沖縄	860	△ 30	97	279	309	90	2,400	10	100	860	2,400

注：１　予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
　　２　沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10ａ当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10ａ当たり収量と第二期稲の10ａ当たり平年収量を用いた。

表４　ふるい目幅別重量分布状況（全国農業地域別概数値）

全国農業地域	区分	計	ふるい目幅 1.70㎜	1.75㎜	1.80㎜	1.85㎜	1.90㎜	2.00㎜以上
全国	重量割合（％）	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.9	2.7	14.9	78.6
	対平均差	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2
北海道	重量割合（％）	100.0	0.7	1.2	1.4	1.9	9.3	85.5
	平均値	100.0	0.6	1.0	1.5	2.1	13.1	81.7
	対平均差	0.0	0.1	0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 3.8	3.8
東北	重量割合（％）	100.0	0.6	1.1	1.5	2.1	11.4	83.3
	平均値	100.0	0.5	0.8	1.4	2.1	12.1	83.1
	対平均差	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	△ 0.7	0.2
北陸	重量割合（％）	100.0	0.6	1.2	1.5	2.1	12.7	81.9
	平均値	100.0	0.6	1.0	1.5	2.0	12.9	82.0
	対平均差	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	△ 0.2	△ 0.1
関東・東山	重量割合（％）	100.0	0.7	1.2	2.1	3.0	18.4	74.6
	平均値	100.0	0.8	1.3	2.3	3.3	19.2	73.1
	対平均差	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.8	1.5
東海	重量割合（％）	100.0	0.9	1.6	2.2	2.7	15.3	77.3
	平均値	100.0	0.9	1.1	1.6	2.6	13.2	80.6
	対平均差	0.0	0.0	0.5	0.6	0.1	2.1	△ 3.3
近畿	重量割合（％）	100.0	1.0	1.6	2.3	2.6	14.6	77.9
	平均値	100.0	0.9	1.4	2.2	2.7	13.7	79.1
	対平均差	0.0	0.1	0.2	0.1	△ 0.1	0.9	△ 1.2
中国	重量割合（％）	100.0	1.0	1.5	2.2	2.5	14.2	78.6
	平均値	100.0	0.8	1.2	1.7	2.3	12.4	81.6
	対平均差	0.0	0.2	0.3	0.5	0.2	1.8	△ 3.0
四国	重量割合（％）	100.0	1.3	2.1	2.9	4.1	20.6	69.0
	平均値	100.0	1.0	1.7	2.5	3.8	17.9	73.1
	対平均差	0.0	0.3	0.4	0.4	0.3	2.7	△ 4.1
九州	重量割合（％）	100.0	1.4	2.5	3.4	4.6	22.1	66.0
	平均値	100.0	1.1	2.0	2.8	4.4	20.7	69.0
	対平均差	0.0	0.3	0.5	0.6	0.2	1.4	△ 3.0

表５　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）
（全国農業地域別概数値）

全国農業地域	区分	ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量(子実用)					
		1.70mm選別	1.75mm選別	1.80mm選別	1.85mm選別	1.90mm選別	2.00mm選別
全国	10ａ当たり収量（kg）	536	532	524	513	499	420
	収穫量（子実用）（ｔ）	8,438,000	8,370,000	8,252,000	8,084,000	7,856,000	6,615,000
北海道	10ａ当たり収量（kg）	577	573	566	558	547	493
	収穫量（子実用）（ｔ）	640,500	636,000	628,300	619,400	607,200	547,600
東北	10ａ当たり収量（kg）	585	581	575	566	554	487
	収穫量（子実用）（ｔ）	2,354,000	2,340,000	2,314,000	2,279,000	2,229,000	1,961,000
北陸	10ａ当たり収量（kg）	536	533	526	518	507	439
	収穫量（子実用）（ｔ）	1,139,000	1,132,000	1,118,000	1,101,000	1,077,000	932,800
関東・東山	10ａ当たり収量（kg）	545	541	535	523	507	407
	収穫量（子実用）（ｔ）	1,595,000	1,584,000	1,565,000	1,531,000	1,483,000	1,190,000
東海	10ａ当たり収量（kg）	497	493	485	474	460	384
	収穫量（子実用）（ｔ）	495,100	490,600	482,700	471,800	458,500	382,700
近畿	10ａ当たり収量（kg）	497	492	484	473	460	387
	収穫量（子実用）（ｔ）	537,100	531,700	523,100	510,800	496,800	418,400
中国	10ａ当たり収量（kg）	495	490	483	472	459	389
	収穫量（子実用）（ｔ）	556,900	551,300	543,000	530,700	516,800	437,700
四国	10ａ当たり収量（kg）	463	457	447	434	415	319
	収穫量（子実用）（ｔ）	256,200	252,900	247,500	240,100	229,600	176,800
九州	10ａ当たり収量（kg）	484	477	465	449	426	319
	収穫量（子実用）（ｔ）	861,900	849,800	828,300	799,000	759,300	568,900

注：１　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、全国及び農業地帯別の10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

２　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国及び農業地帯別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

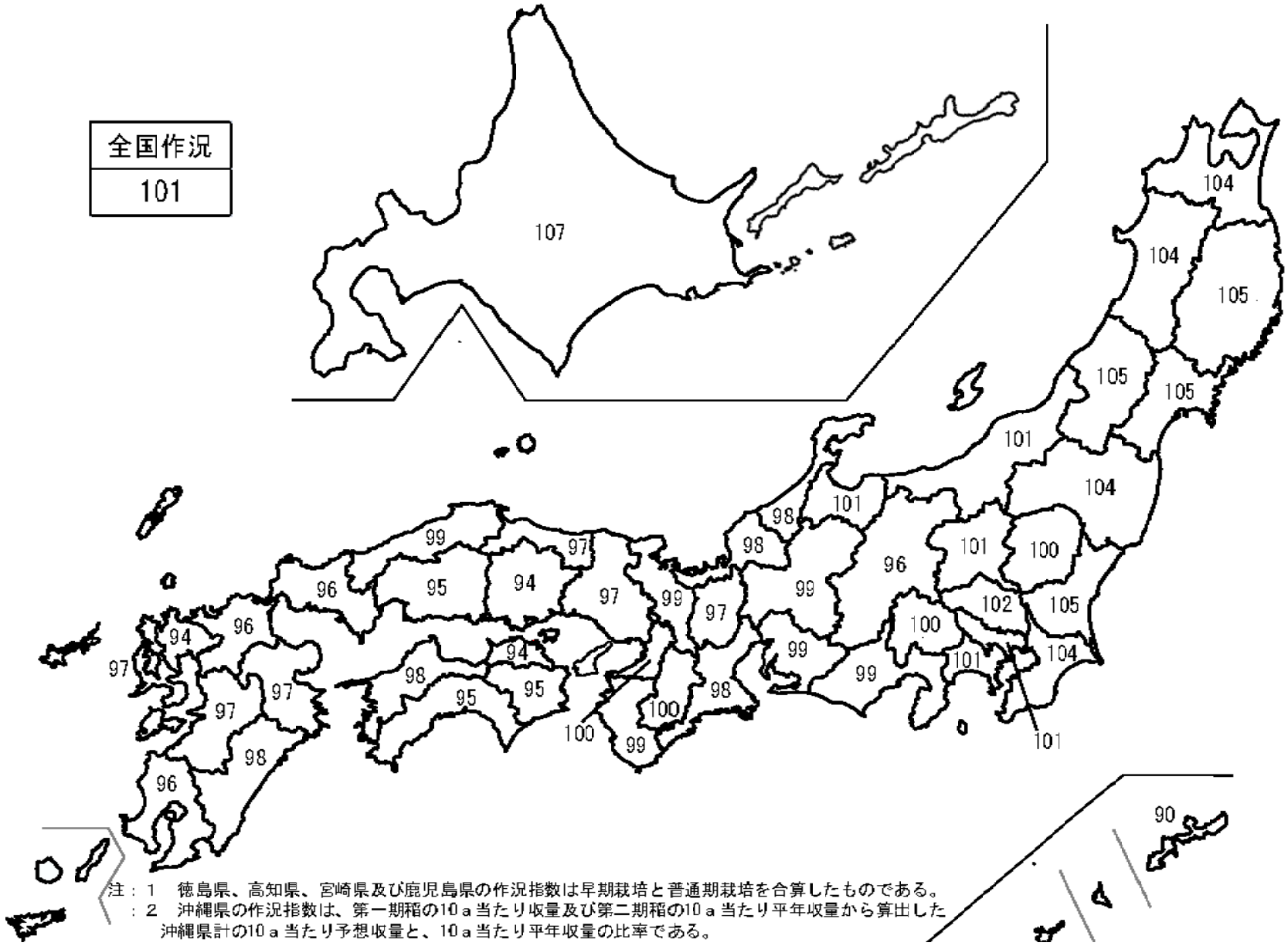
表６　平成25年産農家等が使用したふるい目幅の分布（全国農業地域別）
【平成25年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

区分／全国農業地域	合計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.0mm以上
全国	100.0	0.5	2.4	25.5	37.7	32.7	1.2
北海道	100.0	－	－	4.0	14.0	72.4	9.6
東北	100.0	－	－	0.3	18.4	81.2	0.1
北陸	100.0	－	－	1.8	36.4	60.0	1.8
関東・東山	100.0	0.6	6.1	44.9	46.1	2.0	0.3
東海	100.0	0.1	0.2	35.3	52.3	11.9	0.2
近畿	100.0	2.7	4.9	41.4	32.0	17.0	2.0
中国	100.0	－	0.4	14.0	78.5	6.3	0.8
四国	100.0	0.5	7.6	71.9	19.8	0.2	－
九州	100.0	0.5	3.8	44.0	45.0	6.6	0.1

注：この表は水稲作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

図２　全国・都道府県別作況指数（10月15日現在）



注：１　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培と普通期栽培を合算したものである。
　　：２　沖縄県の作況指数は、第一期稲の10ａ当たり収量及び第二期稲の10ａ当たり平年収量から算出した沖縄県計の10ａ当たり予想収量と、10ａ当たり平年収量の比率である。

【統　　計　　表】

統計表一覧

ページ

１　平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）・・・・・・10

２　平成26年産水稲の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）・・・・・12

利用上の注意

１　統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原　　数		７桁以上 （ 100万 ）	６桁 （ 10万 ）	５桁 （ 万 ）	４桁 (1,000)	３桁以下 （ 100 ）
四捨五入する桁数（下から）		３桁	２桁		１桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

２　表中に用いた記号は以下のとおりである。
「－」：事実のないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの

1　平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全国・都道府県	作付面積（子実用）実数①	前年産との比較 対差	前年産との比較 対比	10a当たり予想収量②	10a当たり平年収量③	作況指数④＝②／③
	ha	ha	%	kg	kg	
全国 (1)	1,573,000	△ 24,000	98	536	530	101
北海道 (2)	111,000	△ 1,000	99	577	537	107
青森 (3)	48,600	△ 1,000	98	610	584	104
岩手 (4)	55,000	△ 400	99	562	533	105
宮城 (5)	71,100	△ 1,100	98	559	530	105
秋田 (6)	91,700	△ 800	99	596	573	104
山形 (7)	67,900	△ 400	99	623	594	105
福島 (8)	68,200	0	100	560	537	104
茨城 (9)	74,700	△ 1,200	98	548	522	105
栃木 (10)	63,900	△ 2,300	97	538	540	100
群馬 (11)	17,300	△ 300	98	501	494	101
埼玉 (12)	34,400	△ 1,000	97	501	490	102
千葉 (13)	60,200	△ 700	99	558	535	104
東京 (14)	159	△ 2	99	416	411	101
神奈川 (15)	3,140	△ 10	100	500	493	101
新潟 (16)	120,100	400	100	547	540	101
富山 (17)	39,500	△ 200	99	541	537	101
石川 (18)	26,600	△ 100	100	508	519	98
福井 (19)	26,200	△ 300	99	510	519	98
山梨 (20)	5,090	△ 170	97	547	547	100
長野 (21)	33,900	△ 500	99	597	621	96
岐阜 (22)	24,100	△ 600	98	482	488	99
静岡 (23)	16,800	△ 300	98	514	521	99
愛知 (24)	29,300	△ 1,000	97	504	507	99
三重 (25)	29,500	△ 700	98	491	500	98
滋賀 (26)	33,000	△ 400	99	502	518	97
京都 (27)	15,200	△ 300	98	507	511	99
大阪 (28)	5,550	△ 90	98	495	495	100
兵庫 (29)	37,900	△ 500	99	487	504	97
奈良 (30)	9,060	△ 130	99	514	513	100
和歌山 (31)	7,230	△ 150	98	492	495	99
鳥取 (32)	13,600	△ 500	96	498	514	97
島根 (33)	18,600	△ 500	97	503	509	99
岡山 (34)	32,600	△ 500	98	493	526	94
広島 (35)	25,600	△ 400	98	497	523	95
山口 (36)	22,300	△ 600	97	483	504	96
徳島 (37)	13,200	△ 200	99	452	474	95
早期栽培 (38)	5,200	△ 90	98	448	463	97
普通栽培 (39)	8,020	△ 110	99	454	480	95
香川 (40)	14,400	△ 300	98	468	499	94
愛媛 (41)	15,000	△ 300	98	490	498	98
高知 (42)	12,700	△ 300	98	438	460	95
早期栽培 (43)	7,400	△ 250	97	470	481	98
普通栽培 (44)	5,330	△ 30	99	393	430	91
福岡 (45)	37,500	△ 1,200	97	477	499	96
佐賀 (46)	25,600	△ 1,100	96	490	522	94
長崎 (47)	13,200	△ 300	98	463	478	97
熊本 (48)	37,500	△ 900	98	501	515	97
大分 (49)	22,900	△ 900	96	490	503	97
宮崎 (50)	18,600	△ 300	98	487	497	98
早期栽培 (51)	7,820	△ 180	98	488	480	102
普通栽培 (52)	10,800	△ 100	99	486	511	95
鹿児島 (53)	22,900	△ 600	97	462	483	96
早期栽培 (54)	5,320	△ 170	97	455	443	103
普通栽培 (55)	17,600	△ 400	98	464	495	94
沖縄 (56)	860	△ 30	97	279	309	90
第一期稲 (57)	586	△ 10	98	325	370	88
第二期稲 (58)	274	△ 20	93	…	…	…

注：1　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
　　2　主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。

予想収穫量（子実用）			参考		
実数 ⑤＝①×②	前年産との比較 対差	前年産との比較 対比	主食用作付見込面積 ⑥	予想収穫量（主食用） ⑦＝⑥×②	
t	t	%	ha	t	
8,438,000	△165,000	98	1,474,000	7,885,000	(1)
640,500	11,100	102	103,500	597,200	(2)
296,500	△ 6,100	98	42,200	257,400	(3)
309,100	8,800	103	51,200	287,700	(4)
397,400	△ 1,100	100	67,900	379,600	(5)
546,500	17,400	103	76,000	453,000	(6)
423,000	7,700	102	61,100	380,700	(7)
381,900	△ 700	100	62,600	350,600	(8)
409,400	△ 2,000	100	72,300	396,200	(9)
343,800	△ 19,600	95	58,300	313,700	(10)
86,700	△ 2,900	97	15,900	79,700	(11)
172,300	2,000	101	33,900	169,800	(12)
335,900	△ 1,500	100	58,300	325,300	(13)
661	△ 7	99	159	661	(14)
15,700	100	101	3,140	15,700	(15)
656,900	△ 7,400	99	105,300	576,000	(16)
213,700	△ 3,100	99	35,700	193,100	(17)
135,100	△ 4,300	97	24,300	123,400	(18)
133,600	△ 5,800	96	24,700	126,000	(19)
27,800	△ 1,200	96	5,040	27,600	(20)
202,400	△ 15,000	93	32,800	195,800	(21)
116,200	△ 6,100	95	23,500	113,300	(22)
86,400	△ 2,700	97	16,600	85,300	(23)
147,700	△ 9,600	94	28,400	143,100	(24)
144,800	△ 11,300	93	28,900	141,900	(25)
165,700	△ 11,000	94	31,300	157,100	(26)
77,100	△ 5,100	94	14,900	75,500	(27)
27,500	△ 800	97	5,540	27,400	(28)
184,600	△ 9,700	95	36,500	177,800	(29)
46,600	△ 1,800	96	9,040	46,500	(30)
35,600	△ 1,700	95	7,230	35,600	(31)
67,700	△ 5,500	92	13,000	64,700	(32)
93,600	△ 4,600	95	18,200	91,500	(33)
160,700	△ 8,800	95	31,100	153,300	(34)
127,200	△ 8,000	94	24,800	123,300	(35)
107,700	△ 3,800	97	21,500	103,800	(36)
59,700	△ 5,600	91	12,800	57,900	(37)
23,300	△ 1,500	94	…	…	(38)
36,400	△ 4,200	90	…	…	(39)
67,400	△ 6,500	91	14,200	66,500	(40)
73,500	△ 1,900	97	14,900	73,000	(41)
55,600	△ 2,800	95	12,700	55,600	(42)
34,800	△ 1,400	96	…	…	(43)
20,900	△ 1,300	94	…	…	(44)
178,900	△ 6,500	96	36,900	176,000	(45)
125,400	△ 5,200	96	25,300	124,000	(46)
61,100	△ 2,100	97	13,200	61,100	(47)
187,900	△ 4,900	97	36,100	180,900	(48)
112,200	△ 3,000	97	22,700	111,200	(49)
90,600	△ 3,000	97	17,400	84,700	(50)
38,200	100	100	…	…	(51)
52,500	△ 3,000	95	…	…	(52)
105,800	△ 9,100	92	22,200	102,600	(53)
24,200	△ 1,100	96	…	…	(54)
81,700	△ 7,800	91	…	…	(55)
2,400	10	100	860	2,400	(56)
1,900	△ 80	96	…	…	(57)
…	…	…	…	…	(58)

3　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4　沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10ａ当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10ａ当たり収量と第二期稲の10ａ当たり平年収量を用いた。

2　平成26年産水稲の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）

都道府県	刈取期 始期	刈取期 最盛期	刈取期 終期	刈取期 最盛期の比較 対平年	刈取期 最盛期の比較 対前年	刈取済面積割合	刈取済面積割合 対平年差
	月　日	月　日	月　日			%	ﾎﾟｲﾝﾄ
北海道	9. 14	9. 25	10. 4	1日早	1日遅	100	1
青森	9. 21	9. 30	10. 13	2日早	1日遅	100	6
岩手	9. 15	9. 30	10. 15	4日早	2日早	96	3
宮城	9. 18	9. 27	10. 10	4日早	1日早	98	0
秋田	9. 23	9. 29	10. 11	3日早	並み	98	1
山形	9. 20	9. 30	10. 9	1日早	2日遅	99	0
福島	9. 24	10. 8	…	1日早	2日遅	86	0
茨城	8. 31	9. 14	9. 28	1日遅	1日遅	100	0
栃木	9. 12	9. 20	10. 15	2日早	並み	95	1
群馬	9. 25	…	…	…	…	49	△ 7
埼玉	8. 30	9. 24	…	1日遅	1日遅	89	△ 3
千葉	8. 19	9. 3	9. 14	並み	2日遅	100	0
東京	9. 27	10. 4	…	2日早	1日早	90	2
神奈川	9. 14	10. 4	…	並み	6日遅	89	0
新潟	9. 6	9. 21	10. 2	並み	1日遅	100	0
富山	8. 28	9. 15	9. 28	2日早	1日遅	100	0
石川	8. 26	9. 13	9. 26	並み	1日遅	100	0
福井	8. 21	9. 12	9. 29	1日遅	2日遅	100	0
山梨	9. 14	9. 30	…	並み	4日遅	90	△ 1
長野	9. 14	10. 1	…	2日遅	5日遅	92	△ 1
岐阜	8. 31	10. 3	…	1日遅	1日遅	76	△ 3
静岡	8. 24	9. 21	…	並み	1日遅	90	0
愛知	8. 28	10. 4	…	並み	2日遅	71	△ 1
三重	8. 22	9. 5	9. 22	2日遅	4日遅	100	0
滋賀	9. 7	9. 17	9. 28	並み	2日遅	100	0
京都	9. 9	9. 24	…	1日遅	2日遅	92	1
大阪	9. 15	10. 11	…	1日早	並み	76	3
兵庫	9. 8	9. 29	…	5日遅	3日遅	83	△ 1
奈良	9. 10	10. 12	…	3日早	1日早	63	5
和歌山	8. 27	9. 20	10. 14	1日遅	2日遅	96	△ 1
鳥取	9. 12	9. 23	10. 13	1日遅	1日遅	97	0
島根	9. 4	9. 21	10. 12	4日遅	6日遅	97	△ 2
岡山	9. 12	10. 8	…	4日遅	2日遅	63	△ 2
広島	9. 10	9. 27	10. 15	2日遅	5日遅	95	△ 1
山口	9. 9	9. 26	…	2日遅	3日遅	94	△ 2
徳島 早期栽培	8. 16	8. 30	9. 9	8日遅	10日遅	100	0
徳島 普通栽培	8. 28	9. 14	10. 12	4日遅	5日遅	97	0
香川	8. 27	10. 2	…	1日遅	1日遅	78	△ 12
愛媛	8. 22	9. 25	…	2日遅	3日遅	92	△ 2
高知 早期栽培	8. 6	8. 19	8. 31	5日遅	8日遅	100	0
高知 普通栽培	9. 23	10. 7	…	3日遅	7日遅	90	△ 2
福岡	9. 11	10. 5	…	2日遅	4日遅	78	△ 10
佐賀	9. 8	10. 13	…	4日遅	5日遅	56	△ 11
長崎	8. 27	10. 15	…	3日遅	4日遅	55	△ 12
熊本	8. 18	10. 10	…	3日遅	5日遅	56	△ 14
大分	9. 19	…	…	…	…	49	△ 2
宮崎 早期栽培	7. 27	8. 5	8. 14	2日遅	6日遅	100	0
宮崎 普通栽培	10. 4	…	…	…	…	45	△ 16
鹿児島 早期栽培	7. 26	8. 11	8. 23	6日遅	9日遅	100	0
鹿児島 普通栽培	10. 5	…	…	…	…	44	△ 11
沖縄 第一期稲	6. 8	6. 29	7. 10	3日遅	5日遅	100	0
沖縄 第二期稲	…	…	…	…	…	－	－

注：1　刈取期の始期とは刈取済面積割合が５％、最盛期は同50％、終期は同95％にそれぞれ達した期日である。
　　2　「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示す。

【参　　考】

参考１－１　平成26年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況
（都道府県別概数値）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

１－２　平成26年産水稲玄米のふるい目幅別10ａ当たり収量
（都道府県別概数値）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

１－３　平成26年産水稲玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）
（都道府県別概数値）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

参考２　平成25年産農家等が使用したふるい目幅の分布（都道府県別）・・・18

参考３　平成26年産水稲の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）・・・・19

参考４　収穫量調査の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

参考５　作況標本筆とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

利用上の注意

１　参考の統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原　　数		７桁以上 （ 100万 ）	６桁 （ 10万 ）	５桁 （ 万 ）	４桁 (1,000)	３桁以下 （ 100 ）
四捨五入する桁数（下から）		３桁	２桁		１桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

２　表中に用いた記号は以下のとおりである。
「－」：事実のないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの

【参考１－１】
平成26年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況（都道府県別概数値）

全国・都道府県		ふるい目幅別重量分布状況						
		計	1.70㎜	1.75㎜	1.80㎜	1.85㎜	1.90㎜	2.00㎜以上
		%	%	%	%	%	%	%
全国	(1)	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
北海道	(2)	100.0	0.7	1.2	1.4	1.9	9.3	85.5
青森	(3)	100.0	0.8	1.1	1.6	1.9	9.9	84.7
岩手	(4)	100.0	0.7	1.2	1.4	1.9	11.2	83.6
宮城	(5)	100.0	0.7	0.9	1.4	1.7	11.1	84.2
秋田	(6)	100.0	0.6	1.2	1.6	2.8	12.5	81.3
山形	(7)	100.0	0.6	0.9	1.2	2.2	11.7	83.4
福島	(8)	100.0	0.4	1.2	1.6	2.0	11.2	83.6
茨城	(9)	100.0	0.2	1.1	1.7	2.5	15.7	78.8
栃木	(10)	100.0	0.8	1.2	2.3	2.8	19.7	73.2
群馬	(11)	100.0	1.4	1.6	3.1	6.1	22.7	65.1
埼玉	(12)	100.0	1.1	1.5	2.7	3.7	24.5	66.5
千葉	(13)	100.0	0.6	0.9	1.9	2.6	17.8	76.2
東京	(14)	100.0	1.6	2.4	3.7	4.9	25.9	61.5
神奈川	(15)	100.0	2.0	1.8	4.0	4.5	23.4	64.3
新潟	(16)	100.0	0.6	1.2	1.5	2.0	11.4	83.3
富山	(17)	100.0	0.5	1.0	1.3	2.1	14.9	80.2
石川	(18)	100.0	0.7	1.0	1.3	1.9	11.3	83.8
福井	(19)	100.0	0.8	1.5	1.9	2.7	17.3	75.8
山梨	(20)	100.0	1.2	1.8	2.0	3.7	17.7	73.6
長野	(21)	100.0	1.0	1.7	1.8	3.0	15.6	76.9
岐阜	(22)	100.0	1.1	1.7	2.3	2.9	15.8	76.2
静岡	(23)	100.0	0.7	1.4	2.0	2.8	15.0	78.1
愛知	(24)	100.0	0.9	1.4	2.1	2.7	16.4	76.5
三重	(25)	100.0	1.0	1.8	2.4	2.6	13.8	78.4
滋賀	(26)	100.0	1.1	1.8	2.3	2.7	14.1	78.0
京都	(27)	100.0	0.7	1.5	1.7	1.5	10.5	84.1
大阪	(28)	100.0	1.3	2.1	4.3	3.4	19.6	69.3
兵庫	(29)	100.0	1.1	1.5	2.5	3.0	17.2	74.7
奈良	(30)	100.0	0.6	1.3	1.4	2.0	10.4	84.3
和歌山	(31)	100.0	0.9	1.6	2.1	2.4	13.9	79.1
鳥取	(32)	100.0	1.0	1.4	1.8	2.8	12.8	80.2
島根	(33)	100.0	0.9	1.3	2.0	2.0	11.4	82.4
岡山	(34)	100.0	1.3	1.8	2.6	2.9	16.5	74.9
広島	(35)	100.0	0.9	1.5	2.0	2.2	12.5	80.9
山口	(36)	100.0	0.9	1.5	2.2	2.6	16.1	76.7
徳島	(37)	100.0	1.6	2.1	3.5	3.6	20.0	69.2
早期栽培	(38)	100.0	1.7	2.3	4.0	4.2	23.7	64.1
普通栽培	(39)	100.0	1.5	2.0	3.2	3.2	17.7	72.4
香川	(40)	100.0	1.5	2.9	3.8	5.5	26.7	59.6
愛媛	(41)	100.0	1.3	2.0	2.8	4.2	20.9	68.8
高知	(42)	100.0	0.8	1.1	1.5	2.7	13.4	80.5
早期栽培	(43)	100.0	0.6	0.8	1.1	2.2	11.5	83.8
普通栽培	(44)	100.0	1.1	1.6	2.1	3.4	16.6	75.2
福岡	(45)	100.0	1.6	2.7	3.7	4.5	22.3	65.2
佐賀	(46)	100.0	1.4	2.1	3.4	3.6	19.4	70.1
長崎	(47)	100.0	1.3	2.8	3.6	5.2	25.9	61.2
熊本	(48)	100.0	1.3	2.4	3.3	4.1	20.9	68.0
大分	(49)	100.0	1.6	3.2	3.6	7.0	25.8	58.8
宮崎	(50)	100.0	1.2	1.8	2.6	4.0	22.6	67.8
早期栽培	(51)	100.0	0.7	1.0	1.4	2.4	19.0	75.5
普通栽培	(52)	100.0	1.5	2.3	3.4	5.1	25.3	62.4
鹿児島	(53)	100.0	1.2	2.1	3.1	4.1	20.5	69.0
早期栽培	(54)	100.0	1.0	1.5	2.4	3.4	20.3	71.4
普通栽培	(55)	100.0	1.3	2.3	3.3	4.3	20.5	68.3
沖縄	(56)	…	…	…	…	…	…	…

注：１　ふるい目幅別重量分布状況は、10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、収穫期の遅い遅場地帯においては、次回公表において割合が変動することがある（以下同じ。）。
　　２　沖縄県については、10月15日現在で、第二期稲が収穫前でデータが揃わないため「･･･」で示した。
　　12月上旬公表予定の「平成26年産水陸稲の収穫量」に掲載を予定している（以下同じ。）。

対平均差							
計	1.70㎜	1.75㎜	1.80㎜	1.85㎜	1.90㎜	2.00㎜ 以　上	
0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2	(1)
0.0	0.1	0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 3.8	3.8	(2)
0.0	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0	△ 1.0	(3)
0.0	0.2	0.5	0.2	0.2	△ 0.3	△ 0.8	(4)
0.0	0.2	0.1	0.3	0.1	△ 1.4	0.7	(5)
0.0	0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.7	0.8	(6)
0.0	0.0	0.2	△ 0.2	0.1	△ 1.8	1.7	(7)
0.0	0.1	0.3	0.2	0.1	0.2	△ 0.9	(8)
0.0	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.7	△ 2.4	4.2	(9)
0.0	△ 0.1	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.7	1.0	(10)
0.0	0.1	△ 0.3	0.0	△ 0.1	△ 0.2	0.5	(11)
0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.1	0.8	(12)
0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.7	3.1	(13)
0.0	0.8	1.1	1.3	1.2	7.7	△ 12.1	(14)
0.0	0.5	0.4	1.2	0.9	5.3	△ 8.3	(15)
0.0	0.1	0.2	△ 0.1	0.1	△ 0.8	0.5	(16)
0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.2	△ 0.7	(17)
0.0	0.2	0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.4	0.2	(18)
0.0	0.1	0.3	0.3	0.0	2.4	△ 3.1	(19)
0.0	0.3	0.3	△ 0.1	0.6	△ 0.7	△ 0.4	(20)
0.0	0.3	0.5	0.3	0.4	1.7	△ 3.2	(21)
0.0	0.2	0.6	0.7	0.1	3.4	△ 5.0	(22)
0.0	0.3	0.4	0.5	0.8	3.1	△ 5.1	(23)
0.0	0.2	0.5	0.7	0.6	3.7	△ 5.7	(24)
0.0	△ 0.2	0.4	0.6	△ 0.6	△ 1.1	0.9	(25)
0.0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.7	△ 1.6	(26)
0.0	0.1	0.4	0.2	△ 0.3	0.8	△ 1.2	(27)
0.0	0.1	0.3	0.5	△ 0.4	1.8	△ 2.3	(28)
0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	2.3	△ 2.6	(29)
0.0	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.9	△ 4.2	6.2	(30)
0.0	△ 0.1	0.2	0.3	0.0	0.6	△ 1.0	(31)
0.0	0.2	0.2	0.2	0.4	2.0	△ 3.0	(32)
0.0	0.3	0.4	0.6	△ 0.1	0.2	△ 1.4	(33)
0.0	0.5	0.5	0.7	0.5	3.6	△ 5.8	(34)
0.0	0.2	0.3	0.4	0.2	1.1	△ 2.2	(35)
0.0	0.0	0.1	0.3	△ 0.3	1.2	△ 1.3	(36)
0.0	0.5	0.5	1.2	0.5	6.2	△ 8.9	(37)
0.0	0.7	0.9	2.0	1.6	10.4	△ 15.6	(38)
0.0	0.4	0.2	0.7	△ 0.2	3.6	△ 4.7	(39)
0.0	0.3	0.4	0.1	0.0	1.2	△ 2.0	(40)
0.0	0.3	0.4	0.5	0.8	4.0	△ 6.0	(41)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 1.4	2.0	(42)
0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 2.5	3.4	(43)
0.0	0.0	0.1	0.0	△ 0.4	0.5	△ 0.2	(44)
0.0	0.4	0.6	0.9	0.1	3.6	△ 5.6	(45)
0.0	0.1	0.2	0.7	0.0	1.3	△ 2.3	(46)
0.0	0.0	0.8	0.2	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.2	(47)
0.0	0.2	0.6	0.4	0.0	△ 0.3	△ 0.9	(48)
0.0	0.3	0.5	0.0	0.9	0.9	△ 2.6	(49)
0.0	0.2	0.2	0.3	0.3	2.8	△ 3.8	(50)
0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	2.6	△ 2.2	(51)
0.0	0.3	0.5	0.6	0.5	3.1	△ 5.0	(52)
0.0	0.3	0.6	0.7	0.2	0.9	△ 2.7	(53)
0.0	0.2	0.3	0.3	△ 0.3	△ 3.0	2.5	(54)
0.0	0.3	0.7	0.8	0.4	1.9	△ 4.1	(55)
…	…	…	…	…	…	…	(56)

3　対平均差に用いた平均値は、直近５か年の重量割合の平均値である。
4　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

【参考１－２】

平成26年産水稲玄米のふるい目幅別10ａ当たり収量（都道府県別概数値）

単位：kg

全国・都道府県	1.70㎜選別	1.75㎜選別	1.80㎜選別	1.85㎜選別	1.90㎜選別	2.00㎜選別
全国	536	532	524	513	499	420
北海道	577	573	566	558	547	493
青森	610	605	598	589	577	517
岩手	562	558	551	543	533	470
宮城	559	555	550	542	533	471
秋田	596	592	585	576	559	485
山形	623	619	614	606	592	520
福島	560	558	551	542	531	468
茨城	548	547	541	532	518	432
栃木	538	534	527	515	500	394
群馬	501	494	486	470	440	326
埼玉	501	495	488	474	456	333
千葉	558	555	550	539	525	425
東京	416	409	399	384	364	256
神奈川	500	490	481	461	439	322
新潟	547	544	537	529	518	456
富山	541	538	533	526	514	434
石川	508	504	499	493	483	426
福井	510	506	498	489	475	387
山梨	547	540	531	520	499	403
長野	597	591	581	570	552	459
岐阜	482	477	469	457	443	367
静岡	514	510	503	493	479	401
愛知	504	499	492	482	468	386
三重	491	486	477	465	453	385
滋賀	502	496	487	476	462	392
京都	507	503	496	487	480	426
大阪	495	489	478	457	440	343
兵庫	487	482	474	462	448	364
奈良	514	511	504	497	487	433
和歌山	492	488	480	469	458	389
鳥取	498	493	486	477	463	399
島根	503	498	492	482	472	414
岡山	493	487	478	465	451	369
広島	497	493	485	475	464	402
山口	483	479	471	461	448	370
徳島	452	445	435	419	403	313
早期栽培	448	440	430	412	393	287
普通栽培	454	447	438	424	409	329
香川	468	461	447	430	404	279
愛媛	490	484	474	460	440	337
高知	438	434	430	423	411	353
早期栽培	470	467	463	458	448	394
普通栽培	393	389	382	374	361	296
福岡	477	469	456	439	417	311
佐賀	490	483	473	456	439	343
長崎	463	457	444	427	403	283
熊本	501	494	482	466	445	341
大分	490	482	466	449	415	288
宮崎	487	481	472	460	440	330
早期栽培	488	485	480	473	461	368
普通栽培	486	479	468	451	426	303
鹿児島	462	456	447	432	413	319
早期栽培	455	450	444	433	417	325
普通栽培	464	458	447	432	412	317
沖縄	…	…	…	…	…	…

注：　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、都道府県の10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

【参考１－３】

平成26年産水稲玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（都道府県別概数値）

単位：t

全国・都道府県	1.70㎜選別	1.75㎜選別	1.80㎜選別	1.85㎜選別	1.90㎜選別	2.00㎜選別
全国	8,438,000	8,370,000	8,252,000	8,084,000	7,856,000	6,615,000
北海道	640,500	636,000	628,300	619,400	607,200	547,600
青森	296,500	294,100	290,900	286,100	280,500	251,100
岩手	309,100	306,900	303,200	298,900	293,000	258,400
宮城	397,400	394,600	391,000	385,500	378,700	334,600
秋田	546,500	543,200	536,700	527,900	512,600	444,300
山形	423,000	420,500	416,700	411,600	402,300	352,800
福島	381,900	380,400	375,800	369,700	362,000	319,300
茨城	409,400	408,600	404,100	397,100	386,900	322,600
栃木	343,800	341,100	336,900	329,000	319,400	251,700
群馬	86,700	85,500	84,100	81,400	76,100	56,400
埼玉	172,300	170,400	167,800	163,200	156,800	114,600
千葉	335,900	333,900	330,900	324,500	315,700	256,000
東京	661	650	635	610	578	407
神奈川	15,700	15,400	15,100	14,500	13,800	10,100
新潟	656,900	653,000	645,100	635,200	622,100	547,200
富山	213,700	212,600	210,500	207,700	203,200	171,400
石川	135,100	134,200	132,800	131,000	128,500	113,200
福井	133,600	132,500	130,500	128,000	124,400	101,300
山梨	27,800	27,500	27,000	26,400	25,400	20,500
長野	202,400	200,400	196,900	193,300	187,200	155,600
岐阜	116,200	114,900	112,900	110,300	106,900	88,500
静岡	86,400	85,800	84,600	82,900	80,400	67,500
愛知	147,700	146,400	144,300	141,200	137,200	113,000
三重	144,800	143,400	140,700	137,300	133,500	113,500
滋賀	165,700	163,900	160,900	157,100	152,600	129,200
京都	77,100	76,600	75,400	74,100	72,900	64,800
大阪	27,500	27,100	26,600	25,400	24,400	19,100
兵庫	184,600	182,600	179,800	175,200	169,600	137,900
奈良	46,600	46,300	45,700	45,100	44,100	39,300
和歌山	35,600	35,300	34,700	34,000	33,100	28,200
鳥取	67,700	67,000	66,100	64,900	63,000	54,300
島根	93,600	92,800	91,500	89,700	87,800	77,100
岡山	160,700	158,600	155,700	151,500	146,900	120,400
広島	127,200	126,100	124,100	121,600	118,800	102,900
山口	107,700	106,700	105,100	102,700	99,900	82,600
徳島	59,700	58,700	57,500	55,400	53,300	41,300
早期栽培	23,300	22,900	22,400	21,400	20,500	14,900
普通栽培	36,400	35,900	35,100	34,000	32,800	26,400
香川	67,400	66,400	64,400	61,900	58,200	40,200
愛媛	73,500	72,500	71,100	69,000	65,900	50,600
高知	55,600	55,200	54,500	53,700	52,200	44,800
早期栽培	34,800	34,600	34,300	33,900	33,200	29,200
普通栽培	20,900	20,700	20,300	19,900	19,200	15,700
福岡	178,900	176,000	171,200	164,600	156,500	116,600
佐賀	125,400	123,600	121,000	116,700	112,200	87,900
長崎	61,100	60,300	58,600	56,400	53,200	37,400
熊本	187,900	185,500	180,900	174,700	167,000	127,800
大分	112,200	110,400	106,800	102,800	94,900	66,000
宮崎	90,600	89,500	87,900	85,500	81,900	61,400
早期栽培	38,200	37,900	37,600	37,000	36,100	28,800
普通栽培	52,500	51,700	50,500	48,700	46,000	32,800
鹿児島	105,800	104,500	102,300	99,000	94,700	73,000
早期栽培	24,200	24,000	23,600	23,000	22,200	17,300
普通栽培	81,700	80,600	78,800	76,100	72,600	55,800
沖縄	…	…	…	…	…	…

注：　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、都道府県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

【参考２】

平成25年産農家等が使用したふるい目幅の分布（都道府県別）

【平成25年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

全国・都道府県	計	1.70㎜	1.75㎜	1.80㎜	1.85㎜	1.90㎜	2.00㎜以上
全国	100.0	0.5	2.4	25.5	37.7	32.7	1.2
北海道	100.0	－	－	4.0	14.0	72.4	9.6
青森	100.0	－	－	－	1.8	98.2	－
岩手	100.0	－	－	0.6	4.5	94.9	－
宮城	100.0	－	－	－	1.7	98.0	0.3
秋田	100.0	－	－	0.8	25.3	73.9	－
山形	100.0	－	－	－	17.5	82.2	0.3
福島	100.0	－	－	0.3	60.8	38.9	－
茨城	100.0	0.4	2.6	22.4	73.9	0.7	－
栃木	100.0	－	0.3	4.9	94.8	－	－
群馬	100.0	0.6	4.2	85.6	6.0	3.6	－
埼玉	100.0	1.6	34.4	53.1	9.9	1.0	－
千葉	100.0	1.1	3.2	86.8	8.9	－	－
東京	100.0	－	－	100.0	－	－	－
神奈川	100.0	2.2	11.1	80.0	6.7	－	－
新潟	100.0	－	－	3.1	61.4	33.6	1.9
富山	100.0	－	－	0.7	9.6	87.9	1.8
石川	100.0	－	－	2.2	48.9	48.9	－
福井	100.0	－	－	－	0.8	96.2	3.0
山梨	100.0	－	－	97.0	3.0	－	－
長野	100.0	－	0.4	21.2	69.0	7.6	1.8
岐阜	100.0	－	－	42.4	52.5	4.0	1.1
静岡	100.0	－	1.0	60.3	38.2	0.5	－
愛知	100.0	0.5	－	18.6	41.4	39.5	－
三重	100.0	－	－	24.7	72.8	2.5	－
滋賀	100.0	－	0.5	7.8	33.9	57.3	0.5
京都	100.0	0.6	－	29.5	53.0	16.3	0.6
大阪	100.0	31.1	40.5	28.4	－	－	－
兵庫	100.0	0.4	5.0	39.7	47.1	1.2	6.6
奈良	100.0	－	－	83.4	15.7	0.9	－
和歌山	100.0	－	1.9	98.1	－	－	－
鳥取	100.0	－	－	5.2	92.1	2.0	0.7
島根	100.0	－	0.6	11.5	78.2	8.6	1.1
岡山	100.0	－	0.8	18.0	80.0	0.4	0.8
広島	100.0	－	0.8	37.6	57.6	3.2	0.8
山口	100.0	－	－	2.2	79.4	17.9	0.5
徳島	100.0	0.6	7.1	89.7	2.6	－	－
香川	100.0	0.7	18.1	75.4	5.8	－	－
愛媛	100.0	－	3.9	48.7	47.4	－	－
高知	100.0	0.8	0.8	74.5	23.1	0.8	－
福岡	100.0	－	0.7	12.3	86.3	－	0.7
佐賀	100.0	－	－	1.4	55.8	42.8	－
長崎	100.0	5.3	27.6	50.7	15.1	1.3	－
熊本	100.0	－	2.1	39.6	57.9	0.4	－
大分	100.0	－	1.5	55.9	42.1	0.5	－
宮崎	100.0	－	1.0	97.5	1.5	－	－
鹿児島	100.0	－	－	85.9	14.1	－	－
沖縄	100.0	9.1	18.2	72.7	－	－	－

注：この表は水稲作況標本（基準）筆農家が選別に使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

【参考３】

平成26年産水稲の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数
北海道	石狩	108
(107)	南空知	108
	北空知	107
	上川	108
	留萌	109
	渡島	105
	檜山	106
	後志	107
	胆振	108
	日高	108
	オホーツク・十勝	115
青森	青森	104
(104)	津軽	104
	南部・下北	106
岩手	北上川上流	105
(105)	北上川下流	105
	東部	105
	北部	106
宮城	南部	106
(105)	中部	105
	北部	105
	東部	104
秋田	県北	104
(104)	県中央	104
	県南	103
山形	村山	105
(105)	最上	104
	置賜	104
	庄内	105
福島	中通り	104
(104)	浜通り	104
	会津	103
茨城	北部	106
(105)	鹿行	106
	南部	106
	西部	103
栃木	北部	100
(100)	中部	99
	南部	99
群馬	中毛	101
(101)	北毛	94
	東毛	104
埼玉	東部	102
(102)	西部	102
千葉	京葉	104
(104)	九十九里	104
	南房総	104
東京	東京	101
(101)		
神奈川	神奈川	101
(101)		
新潟	岩船	104
(101)	下越北	101
	下越南	103
	中越	100
	魚沼	102
	上越	102
	佐渡	98
富山	富山	101
(101)		
石川	加賀	97
(98)	能登	98
福井	嶺北	98
(98)	嶺南	98
山梨	山梨	100
(100)		
長野	東信	95
(96)	南信	95
	中信	95
	北信	101
岐阜	西南濃	99
(99)	中濃	98
	東濃	99
	飛騨	99
静岡	東部	98
(99)	西部	99

注： 西南暖地の早期栽培等の地域（徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県）は早期栽培と普通栽培を合算したものである。なお、沖縄県の算出には、第一期稲の10ａ当たり収量と第二期稲の10ａ当たり平年収量を用いた。

【参考３（続き）】

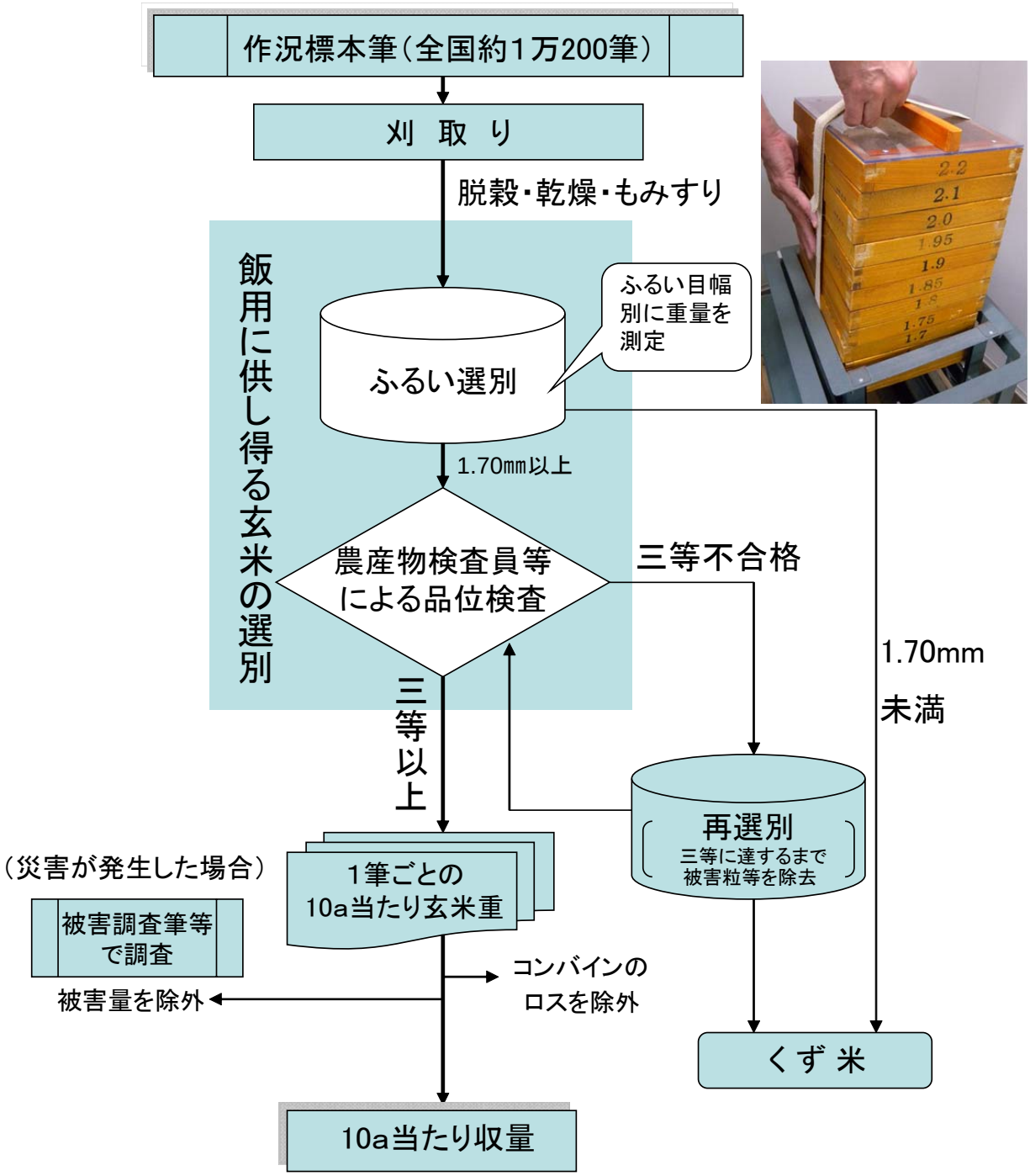
平成26年産水稲の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数
愛知 (99)	尾張	99
	西三河	100
	東三河	100
三重 (98)	北勢	98
	中勢	98
	南勢	98
	伊賀	99
滋賀 (97)	湖南	97
	湖北	97
京都 (99)	南部	100
	北部	98
大阪 (100)	大阪	100
兵庫 (97)	県南	96
	県北	98
	淡路	98
奈良 (100)	奈良	100
和歌山 (99)	和歌山	99
鳥取 (97)	東部	98
	西部	96
島根 (99)	出雲	99
	石見	97
岡山 (94)	南部	95
	中北部	92
広島 (95)	南部	97
	北部	93
山口 (96)	東部	94
	西部	97
	長北	94
徳島 (95)	北部	95
	南部	96
香川 (94)	香川	94
愛媛 (98)	東予	100
	中予	97
	南予	97
高知 (95)	中東部	96
	西部	93
福岡 (96)	福岡	97
	北東部	97
	筑後	95
佐賀 (94)	佐賀	94
	松浦	95
長崎 (97)	南部	95
	北部	99
	五島	97
	壱岐・対馬	102
熊本 (97)	県北	97
	阿蘇	97
	県南	98
	天草	98
大分 (97)	北部	97
	湾岸	97
	南部	98
	日田	96
宮崎 (98)	広域沿海	100
	広域霧島	95
	西北山間	96
鹿児島 (96)	薩摩半島	98
	出水薩摩	94
	伊佐姶良	93
	大隅半島	98
	熊毛・大島	100
沖縄 (90)	沖縄諸島	94
	八重山	89

【参考４】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考５】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

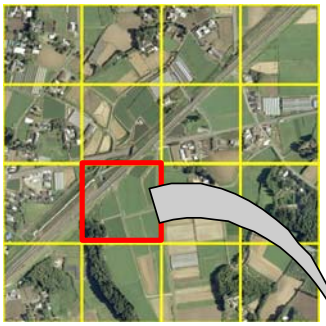


【参考５】

作況標本筆（ふで）とは

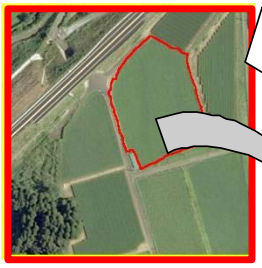
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し（全国で約1万200筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



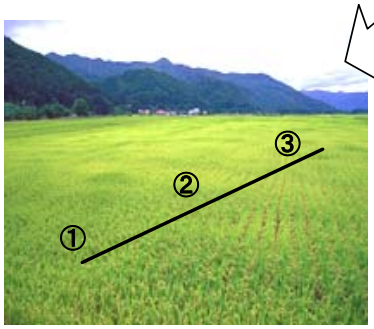
① 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



② 標本単位区の中から無作為に１枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で約１万200筆）



③ 各作況標本筆の対角線上の３か所（①、②、③）を実測調査箇所として、サンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1　調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲予想収穫量調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況・予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2　調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。
なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域名	所　属　都　道　府　県　名
北　海　道	北海道
東　　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北　　陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東　　海	岐阜、静岡、愛知、三重
近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中　　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四　　国	徳島、香川、愛媛、高知
九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖　　縄	沖縄

3　調査対象数

(1)　作付面積調査
　　標本単位区：39,369単位区　巡回・見積り：1,720市町村
(2)　予想収穫量調査
　　作況標本筆：10,248筆　作況基準筆：648筆　巡回・見積り：1,720市町村

4　調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5　調査期日

(1)　作付面積調査：７月15日現在
(2)　予想収穫量調査：10月15日現在

6　調査方法

(1)　作付面積調査
　　調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。
(2)　予想収穫量調査
　　調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。
　　ふるい目幅別の調査は、刈取り・もみすりした粗玄米を縦目ふるい（目幅が2.20㎜～1.60㎜の範囲の縦目ふるい）により、ふるい目幅別に選別し重量を計測することにより行った。

7　集計方法

(1)　作付面積調査
　　対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。
(2)　予想収穫量調査
　　調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

ふるい目幅別については、ふるい目幅別の重量の計測結果を所定の目幅（2.00、1.90、1.85、1.80、1.75、1.70）ごとに集計し取りまとめている。

８　用語の解説

(1)　「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（ＷＣＳ用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。

(2)　「作況指数」とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり予想収量の比率である。

(3)　「10ａ当たり平年収量」とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10ａ当たり収量をいう。

９　その他

(1)　本調査（10月15日現在）は､収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

(2)　本調査についての確定値は、「平成26年産水陸稲の収穫量」として12月上旬に公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/ 】
この結果の分野別分類は「作付面積･生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ
http://www.maff.go.jp/j/kanbo/
農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞生産局の部局別トップへ
http://www.maff.go.jp/j/seisan/

お問合せ先

◎本統計調査結果について
農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 面積統計班
電話：（代表）03-3502-8111　内線3681
（直通）03-6744-2045
ＦＡＸ：　03-5511-8771

生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111　内線3682
（直通）03-3502-5687
ＦＡＸ：　03-5511-8771

◎農林水産統計全般について
農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電話：（代表）03-3502-8111　内線3589
（直通）03-6744-2037
ＦＡＸ：　03-3501-9644

平成27年２月１日現在で、
２０１５年農林業センサスを実施します。
○農林業経営体調査
（平成26年12月中旬～平成27年２月末）
○農山村地域調査（平成27年４～６月末）

円滑な調査の実施に向けて、
ご協力をお願いします。
農林業センサスホームページ
ＵＲＬ：http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc
農林業センサス